

【パネリスト紹介】一関市社会福祉協議会千厩支部長 尾形秀治(おがた しゅうじ)氏

一関市千厩町出身。昭和 57 年度から千厩町職員。市町村合併により平成 17 年 9 月から一関市職員。平成 24 年度から一関市役所東山支所市民課長、平成 26 年度から一関地区広域行政組合次長兼介護保険課長、平成 29 年度から同組合事務局長として、一関市、平泉町管内の、ごみ処理・し尿処理施設、火葬場の運営や高齢者の介護や保健福祉に関する相談窓口となる地域包括支援センターの設置などに取り組む。平成 31 年 4 月から一関市社会福祉協議会千厩支部長として、高齢者の生活支援を目的に、ふれあいサロン活動や高齢者の買い物支援事業に取り組んでいる。令和元年度から「岩手セイエイ百貨店 デモンストレーション事業」を実施中。



社会福祉法人一関市社会福祉協議会の概要

社会福祉協議会とは(HPから抜粋)

■一関市社会福祉協議会の理念

一関市社会福祉協議会では、『**支え合い 幸せ感じる 地域の暮らし**』を基本理念に掲げ、地域福祉の推進に取り組んでいます。福祉は、みんなで支え合うという**一人ひとりの「思いやり」と「助け合い」の結の心を育む**ことと同時に、**誰もが福祉の担い手であり、福祉の受け手であることを認めあう地域づくり**を目指しています。

■「福祉のまちづくり」をめざした活動をおこなっています

社会福祉協議会は、**地域福祉の推進を目的として各市町村に設置**されている社会福祉法人の民間団体です。社会福祉法に基づき設置されています。皆さんには、「社協」の略称で知られています。

社協は、地域に暮らす皆さん、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設等の社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざしたさまざまな活動を行っています。

例えば、生活相談事業、ボランティアや市民活動の支援、地域の方が気軽に集えるサロン活動の支援のほか、高齢者や障がい者の在宅生活を支援するためのホームヘルプサービス(訪問介護)などの福祉サービス、共同募金運動への協力など、市全域の取り組みから地域の特性に応じた活動まで、さまざまな場面で地域の福祉推進に取り組んでいます。

■活動財源

社協の活動財源は、市民の皆様からの社協会費(正会員[1世帯年額]1,000円)や寄附金、赤い羽根共同募金の配分金、市等からの補助金・委託金などを財源として活動しています。

ふれあいサロン支援 体系図



ふれあいサロンの課題

- (1)後継者、担い手の不足
- (2)参加者の移手段の確保(送迎、保険等)
- (3)活動メニューのマンネリ化
- (4)活動継続の支援
- (5)コロナ禍での活動制限
- (6)地域の協力体制の確保



※このサロンの課題は、千厩地域に限らず一関市内をはじめ、

岩手県、全国でも課題 となっている。

生活衛生同業組合への期待

1. 長く続いたコロナ禍での活動制限も影響し、後継者や担い手不足や活動メニューのマンネリ化、活動継続の支援が大きな課題。
2. 特に、ふれあいサロンの代表者や世話人の皆さんは、サロンを盛り上げることや参加者に喜んでもらえるようなメニュー考案など、日々サロン運営に苦慮されている。
3. サロン運営に生活衛生同業組合様の協力をいただくことで、サロン活動の活性化やサロン世話人の負担軽減のみならず、地域とのつながりが深くなり、地域活性化や地域振興、健康増進(介護予防)にもつながることが期待されます。少子高齢化や介護予防など地域での支え合いが重要になってくる中で、**生活衛生同業組合様の協力は必要不可欠です。**

今後とも、**皆様の参画・ご協力**をお願いします！！